

ドバイにおける糖尿病完全寛解・未病トリートメントセンター設立構想

— 研究成果を、世界の患者と健康寿命社会へ届けるために —

株式会社バイオジップコード

2026.6.1

事業コンセプト

UAE・ドバイにおいて、糖尿病の完全寛解の可能性を追求する医療と、未病・予防・ウェルネスを統合したトリートメントセンターを段階的に設立する。初期は提携クリニック・ホテルを活用し、医師の管理下で、糖代謝評価、生活習慣改善、CGM、栄養・運動・睡眠支援、オンラインフォローを提供する。研究段階の5-ALA 関連研究、糖尿病幹細胞バイオマーカー、Biozipcode™技術は、一般医療と明確に区別し、将来的な診断支援・研究開発要素として慎重に位置づける。

1. 市場機会とドバイで行う理由

約 5.89 億人 世界の糖尿病患者	約 130 万人 UAE の糖尿病患者	約 69 万人 ドバイ医療ツーリスト
IDF 推計。2050 年には約 8.53 億人 へ増加見込み。	IDF 推計。2050 年には約 190 万人 へ増加見込み。	2023 年 DHA 発表。医療支出は 10 億 AED 超。

糖尿病は、医療費、合併症、労働生産性、健康寿命に影響する国際的な社会課題である。一方で、発症前の未病段階では、血糖変動、肥満、内臓脂肪、睡眠不足、慢性疲労、運動不足などの変化が積み重なっている。本構想は、この未病段階から医療・ウェルネスを統合し、糖尿病管理にとどまらない新しい支援モデルをドバイで構築するものである。

ドバイは、DHA、Dubai Healthcare City、国際患者、富裕層、ホテル・リゾート、ファミリーオフィス、投資家ネットワークが集まる都市であり、医療ツーリズムと高付加価値ヘルスケアを組み合わせやすい。初期段階では、既存クリニックやホテルとの提携を活用することで、大規模な固定投資を抑えながら実証を進める。

2. 対象顧客と提供価値

主な対象顧客	提供価値
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 型糖尿病患者・糖尿病予備群 ・ 肥満、内臓脂肪、生活習慣病リスク層 ・ 経営者、富裕層、海外患者、ファミリーオフィス関係者 ・ 健康寿命・ロングビティ・未病ケアに関心のある個人 ・ 法人の健康経営・エグゼクティブ向け健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の管理下での糖代謝・合併症リスク評価 ・ CGM 等による日常の血糖変動の可視化 ・ 栄養、運動、睡眠、ストレスを含む継続支援 ・ ドバイ滞在型のメディカルリトリート化 ・ 研究成果を将来の診断支援・バイオマーカーへ接続

3. 提供プログラム

糖尿病完全寛解を目指す医療プログラム	血糖、HbA1c、C ペプチド、インスリン分泌能、合併症リスク、CGM、栄養・運動・睡眠指導を統合。完全寛解を保証せず、既存治療を尊重し医師の管理下で進める。
未病・糖尿病予備群向けプログラム	糖尿病発症前の段階で、血糖変動、体重、内臓脂肪、食事、睡眠、運動、慢性炎症リスクを評価し、予防的な生活改善を支援。
メディカルリトリート	ドバイのホテル・リゾートと連携し、数日から数週間の滞在型プログラムを設計。検査・診療・食事・運動・睡眠改善・帰国後フォローを組み合わせる。
エグゼクティブ・ロングビティ	経営者・富裕層向けに、糖代謝、疲労、睡眠、体組成、栄養、運動機能、ストレスを総合評価し、実生活に合わせた改善プランを提供。
研究連携プログラム	5-ALA 関連研究、糖尿病幹細胞バイオマーカー、Biozipcode™技術は、研究段階の要素として、倫理審査・規制確認を前提に将来の診断支援へ接続。

4. 収益モデルと提携戦略

短期収益	中期収益	長期収益
初期検査・健康評価、1～3か月の糖尿病・未病プログラム、CGM、栄養・運動・睡眠指導、オンラインフォロー。	メディカルリトリート、エグゼクティブ・ロングビティ、法人向け健康経営プログラム、会員制フォロー。	提携クリニックへのプログラム提供、ホテル共同パッケージ、バイオマーカー共同研究、将来的なライセンスモデル。

5-ALA 関連製品・サプリメントは、医薬品的な効果訴求を行わず、UAE での輸入、表示、広告、医療機関内での使用可否を確認したうえで、適法な範囲で慎重に取り扱う。

5. 立ち上げステップ

時期	重点テーマ	主な実行内容	成果目標
Year 1	規制確認・パイロット	DHA 等の規制確認、提携クリニック・ホテル・検査会社の開拓、小規模プログラム開始。	提供範囲・価格・安全性・運用体制を検証。
Year 2	リトリート・センター準備	ホテル連携による少人数リトリート、法人向け健康管理、専用センター候補地・人員・設備の具体化。	共同パッケージ化、専用センター計画確定。
Year 3	専用センター・国際化	ドバイ専用センター稼働、会員制オンラインフォロー、UAE・パラオ・日本連携、標準プログラム整備。	国際患者受入、法人契約、将来ライセンス展開の土台化。

6. 提携先イメージ

提携対象は、ドバイのクリニック・病院、Dubai Healthcare City 関連施設、ウェルネスホテル・高級リゾート、医療ツーリズム事業者、検査会社、栄養・運動・リハビリ専門家、大学・研究機関、投資

家・ファミリーオフィス、政府・公的機関を想定する。選定では、知名度よりも、医療安全性、規制対応、国際患者対応、データ管理、研究倫理、富裕層向けサービス品質を重視する。

7. 投資計画と資金使途

モデル	内容	3年間の概算予算
ミニマム	提携クリニック中心。小規模パイロットと限定的なリトリートから開始。	3億～5億円
標準	提携クリニックで実績を作り、2年目以降に専用センターを開設。	7億～12億円
本格展開	専用センター、ホテル連携、研究データ基盤、国際展開準備まで同時進行。	12億～20億円

初期調達は、標準モデルを基本に、まずは第1トランシェで規制確認・提携開拓・パイロット運営・投資家向け詳細DDを実行し、実績確認後に専用センター開設資金へ進む段階投資が現実的である。

規制・法務	医療運営	IT・データ	事業開発
医療ライセンス、広告、薬事、データ保護、契約DD	医師・看護師・栄養・運動・リハビリ専門職、検査費	患者管理、オンラインフォロー、CGM、研究データ管理	提携先開拓、ホテル共同商品、海外患者対応、広報

8. 投資家にとっての魅力

<p>成長領域の横断</p> <p>糖尿病、未病、ロングビティ、医療ツーリズムを一体化し、患者層だけでなく、予備群、富裕層、法人まで対象を広げられる。</p>	<p>複合型収益モデル</p> <p>検査、トリートメント、リトリート、会員制、法人契約、提携提供、将来ライセンスを段階的に組み合わせる。</p>
<p>研究開発との接続</p> <p>5-ALA、バイオマーカー、Biozipcode™技術を、確立医療としてではなく、将来の診断支援・研究開発要素として接続できる。</p>	<p>国際展開の土台</p> <p>UAEを事業・医療ツーリズム拠点、パラオを地域実証、日本を研究・知財・品質管理拠点として役割分担できる。</p>

9. コンプライアンス方針

本事業では、糖尿病の完全寛解を保証しない。医師の管理下で提供し、自己判断による薬剤・インスリン・通院の中止を促さない。5-ALA やサプリメントについては効果効能を断定せず、UAE、日本、パラオその他関係国の薬事・食品・広告規制を確認する。糖尿病幹細胞バイオマーカー、Biozipcode™技術は研究開発段階の要素として、一般医療と明確に区別する。

10. 次のアクション

1. 現地 DD	2. パイロット設計	3. 投資条件協議
DHA/DHCC、医療広告、薬事、データ保護、提携クリニック条件を確認。	対象患者、価格、検査項目、CGM、医師体制、リトリート導線を具体化。	標準モデルを前提に、段階投資、共同事業、戦略投資、MOUを検討。